



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成28年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フュージョンパートナー
 コード番号 4845 URL <http://www.fusion-partner.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榑野 憲克
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 呉 裕紀
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6418-3960

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	2,533	307.5	3,005	1,642.6	3,004	1,504.3	2,890	2,132.5	2,787	2,053.3	2,893	3,336.3
28年6月期第1四半期	621	14.1	172	1.9	187	8.7	129	16.7	129	16.7	84	△23.8

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
29年6月期第1四半期	円 銭 165.67	円 銭 164.05
28年6月期第1四半期	9.27	—

※前連結会計年度末において、持分法適用関連会社の取得価額配分に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、平成28年6月期第1四半期連結累計期間について、当該確定により識別された無形資産の償却費を反映しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	百万円	%	円 銭
29年6月期第1四半期	13,637	—	8,469	—	6,586	48.3	391.44
28年6月期	9,633	—	3,913	—	3,913	40.6	232.57

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年6月期	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 14.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	302.1	3,200	957.9	3,200	868.6	3,000	1,205.1	2,800	1,118.1	166.41
通期	10,300	282.3	4,000	548.4	4,000	234.4	3,500	321.2	3,150	279.1	187.22

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

■ Non-GAAP指標について

当企業集団は、前連結会計年度より国際会計基準(IFRS)を適用しております。また、国際会計基準(IFRS)に加えて、より実態を把握することができる指標(Non-GAAP指標)を当第1四半期連結累計期間より採用し、双方で連結経営成績を開示いたします。

Non-GAAP指標による連結業績予想につきましては、添付資料P.41「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 ソフトブレン株式会社
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期1Q	16,825,559 株	28年6月期	16,825,900 株
② 期末自己株式数	29年6月期1Q	— 株	28年6月期	341 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期1Q	16,825,559 株	28年6月期1Q	13,967,559 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
要約四半期連結損益計算書	
要約四半期連結包括利益計算書	
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(要約四半期連結財務諸表注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 10
(重要な後発事象)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当企業集団は、前連結会計年度より国際会計基準（IFRS）を適用しております。

また、国際会計基準（IFRS）に加えて、より実態を把握することができる指標（以下、Non-GAAP指標）を当第1四半期連結累計期間より採用し、双方で連結経営成績を開示いたします。

なお、当第1四半期連結累計期間より、ソフトブレーン㈱及びその子会社を連結の範囲に含めたことに伴い報告セグメントを変更しており、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に読み替えた数値で比較しております。

(1) 経営成績に関する説明

当企業集団は、経営資源の効率化を進めるとともに、成長分野への人員増強やM&Aの活用による事業拡大等、企業価値の向上に努めております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上収益は2,533百万円（前年同期比307.5%増）となりました。営業利益はソフトブレーン㈱を連結の範囲に含めたことによる段階取得に係る差益が2,633百万円発生したことに伴い3,005百万円（同1,642.6%増）となりました。

また、税引前四半期利益は3,004百万円（同1,504.3%増）、四半期利益は2,890百万円（同2,132.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,787百万円（同2,053.3%増）となりました。

(国際会計基準(IFRS) ベース)

(%表示は対前年同期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成29年6月期 第1四半期	2,533	307.5	3,005	1,642.6	3,004	1,504.3	2,890	2,132.5	2,787	2,053.3
平成28年6月期 第1四半期	621	14.1	172	1.9	187	8.7	129	16.7	129	16.7

(Non-GAAP ベース)

(%表示は対前年同期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成29年6月期 第1四半期	2,533	307.5	362	110.0	360	92.7	249	93.0	147	13.7
平成28年6月期 第1四半期	621	14.1	172	1.9	187	8.7	129	16.7	129	16.7

Non-GAAP指標は、国際会計基準(IFRS)から当企業集団が定める非経常的な項目やその他の調整項目を控除したものです。

Non-GAAP指標を開示することで、ステークホルダーにとって同業他社比較や過年度比較が容易になり、当企業集団の恒常的な経営成績や将来見通しを理解する上で、有益な情報を提供できると判断しております。

なお、非経常的な項目とは、一定のルールに基づき将来見通し作成の観点から除外すべきと当企業集団が判断する一過性の利益や損失のことです。

Non-GAAP指標の開示に際しては、米国証券取引委員会(U.S. Securities and Exchange Commission)が定める基準を参照しておりますが、同基準に完全に準拠しているものではありません。

当第1四半期累計期間のNon-GAAP指標においては、ソフトブレーン㈱を連結の範囲に含めたことによる段階取得に係る差益2,633百万円を控除し、同社株式取得時に識別する無形資産の償却費10百万円（現時点における暫定額）を追加計上いたしました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

なお、売上収益及びセグメント利益は国際会計基準（IFRS）に基づいて記載しております。

① SaaS/ASP事業

SaaS/ASP事業は再利用可能なプログラムモジュールだけでなく、経験やノウハウの積上げにより信頼性や柔軟な対応力を向上させ、堅調な実績へと結び付けるストックビジネスモデルを採用し、売上収益は累積的に増加しております。

当第1四半期連結累計期間においては、主力サービスのサイト内検索サービス『i-search』の導入実績が順調に増加し、赤城乳業㈱、住友重機械工業㈱、ダイハツ工業㈱、㈱ポニーキャニオン、モロゾフ㈱等に、Webサイト上に掲載する「よくある質問」や社内情報の共有管理ツールとして利用されている『i-ask』については、㈱エネルギー・コミュニケーションズ、㈱サンシャインシティ等に導入され、堅調にシェアを拡大しております。また、製品等のWebページの管理を簡易化するサービス『i-catalog』は㈱あたらす二十一に、『IVR（自動音声応答）』サービスは三井住友トラストクラブ㈱のコールセンターの顧客満足度調査アンケートとして導入されました。

その他にも、アーティスト向けファンクラブWebサイトの構築及び事務局運営代行が芸能プロダクションに導入され、更には、訪日外国人向け旅行保険の契約システムが損害保険会社に導入されました。

以上の結果、売上収益は641百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は76百万円（前年同期比55.6%減）となりました。

② eセールスマネージャー関連事業

主力製品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャーRemix」について、当第1四半期連結累計期間は大型案件の獲得等により売上収益が大きく増加いたしました。

また、営業課題にフォーカスしたコンサルティング及びスキルトレーニング等も需要は根強く、堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上収益は896百万円、増収効果によりセグメント利益は206百万円となりました。

③ フィールドマーケティング事業

消費財メーカーにおける店頭でのフィールド活動業務のアウトソーシング化の流れが継続しているなか、新規の大型案件の獲得によるストック収益の積上げに加え、店頭構築等スポット業務も堅調に推移いたしました。

一方、更なる成長に向けて、事業拠点の拡大や管理職や管理部門の人材を積極的に採用し、組織運営体制の強化を推進いたしました。

以上の結果、売上収益809百万円、セグメント利益は87百万円となりました。

④ その他

システム開発事業については既存顧客の深耕と新規顧客の獲得及びプロジェクト管理の徹底に努めた結果、売上収益は144百万円となりました。

出版事業の売上収益は41百万円となりましたが、将来の成長に向けて採用活動を積極化させていることから人件費負担が増加いたしました。

以上の結果、セグメント利益は1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4,003百万円増加し、13,637百万円となりました。その主な要因は、ソフトブレン(株)を連結の範囲に含めた際に発生したのれん5,569百万円、営業債権及びその他の債権の増加1,370百万円及び(株)エイジアの株式を売却したことによる持分法で会計処理されている投資の減少2,800百万円等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ552百万円減少し、5,168百万円となりました。その主な要因は、営業債務及びその他の債務の減少834百万円及び長期借入金の増加389百万円等によるものであります。

(資本)

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ4,556百万円増加し、8,469百万円となりました。その主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加2,787百万円、非支配持分の増加1,882百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成28年8月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしました。

(国際会計基準(IFRS) ベース)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
平成29年6月期 (予想)	10,300	282.3	4,000	548.4	4,000	234.4	3,500	321.2	3,150	279.1	187.22
平成28年6月期 (実績)	2,693	20.4	616	14.0	1,196	116.2	830	129.6	830	129.6	56.68

(Non-GAAP ベース)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
平成29年6月期 (予想)	10,300	282.3	1,500	143.2	1,500	124.5	1,000	115.5	700	50.8	41.60
平成28年6月期 (実績)	2,693	-	616	-	668	-	464	-	464	-	31.66

2. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期 連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,060,414	4,144,578
営業債権及びその他の債権	369,732	1,740,699
棚卸資産	-	88,082
その他の流動資産	40,311	128,798
流動資産合計	5,470,458	6,102,158
非流動資産		
有形固定資産	291,040	393,624
のれん	520,750	6,108,300
無形資産	25,129	334,036
持分法で会計処理されている投資	2,800,323	-
その他の長期金融資産	454,642	543,735
繰延税金資産	68,039	147,956
その他の非流動資産	3,530	7,417
非流動資産合計	4,163,456	7,535,069
資産合計	9,633,914	13,637,228
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,919,388	1,084,857
借入金	3,300,000	3,117,000
未払法人所得税等	372,368	115,300
その他の流動負債	92,596	408,253
流動負債合計	5,684,353	4,725,411
非流動負債		
長期借入金	-	389,000
その他の非流動負債	36,511	53,732
非流動負債合計	36,511	442,732
負債合計	5,720,864	5,168,144
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	1,570,806	1,570,806
資本剰余金	1,256,340	1,256,668
利益剰余金	1,079,635	3,749,350
自己株式	△102	-
その他の資本の構成要素	6,371	9,402
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,913,050	6,586,227
非支配持分	-	1,882,857
資本合計	3,913,050	8,469,084
負債及び資本合計	9,633,914	13,637,228

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上収益	621,589	2,533,126
売上原価	259,170	1,486,049
売上総利益	362,419	1,047,076
販売費及び一般管理費	189,915	672,584
その他の収益	-	2,634,020
その他の費用	-	2,525
営業利益	172,503	3,005,988
金融収益	3,183	3,198
金融費用	750	4,459
持分法による投資利益	12,351	-
税引前四半期利益	187,288	3,004,726
法人所得税費用	57,834	114,673
四半期利益	129,453	2,890,052
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	129,453	2,787,494
非支配持分	-	102,558
四半期利益	129,453	2,890,052
1株当たり親会社の普通株主に帰属する四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	9.27	165.67
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	-	164.05

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
四半期利益	129,453	2,890,052
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産の公正価値の純変動	△45,325	3,041
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	64	-
税引後その他の包括利益合計	△45,260	3,041
四半期包括利益	84,193	2,893,094
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	84,193	2,893,084
非支配持分	-	10
四半期包括利益	84,193	2,893,094

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
平成27年7月1日残高	1,133,011	661,498	430,317	△297,694	67,329	1,994,460	-	1,994,460
四半期利益	-	-	129,453	-	-	129,453	-	129,453
その他の包括利益合計	-	-	-	-	△45,260	△45,260	-	△45,260
四半期包括利益	-	-	129,453	-	△45,260	84,193	-	84,193
配当金	-	-	△83,805	-	-	△83,805	-	△83,805
関連会社の支配継続子会社に対する持分変動	-	△152	-	-	-	△152	-	△152
所有者との取引額合計	-	△152	△83,805	-	-	△83,958	-	△83,958
平成27年9月30日残高	1,133,011	661,345	475,965	△297,694	22,068	1,994,695	-	1,994,695

当第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
平成28年7月1日残高	1,570,806	1,256,340	1,079,635	△102	6,371	3,913,050	-	3,913,050
四半期利益	-	-	2,787,494	-	-	2,787,494	102,558	2,890,052
その他の包括利益合計	-	-	-	-	3,031	3,031	10	3,041
四半期包括利益	-	-	2,787,494	-	3,031	2,790,525	102,569	2,893,094
企業結合による変動	-	-	-	-	-	-	1,762,804	1,762,804
株式報酬取引	-	-	-	-	-	-	12,103	12,103
配当金	-	-	△117,778	-	-	△117,778	-	△117,778
自己株式の消却	-	△102	-	102	-	-	-	-
非支配持分の取得及び処分	-	430	-	-	-	430	5,380	5,811
所有者との取引額合計	-	327	△117,778	102	-	△117,347	1,780,287	1,662,939
平成28年9月30日残高	1,570,806	1,256,668	3,749,350	-	9,402	6,586,227	1,882,857	8,469,084

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	187,288	3,004,726
段階取得に係る差益	-	△2,633,133
減価償却費及び償却費	9,184	59,982
金融収益	△3,183	△3,198
金融費用	750	4,459
持分法による投資損益(△は益)	△12,351	-
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△29,394	△158,280
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△79,199	△78,540
その他	△10,638	66,761
小計	62,455	262,777
利息及び配当金の受取額	65	55
利息の支払額	△631	△2,879
法人所得税の支払額	△128,648	△456,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66,759	△196,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△45,280	△15,813
無形資産の取得による支出	-	△35,773
投資有価証券の取得による支出	-	△1,263
関係会社株式の取得による支出	△686,035	-
子会社の取得による支出	-	△450,473
その他	△2,107	211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△733,423	△503,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	150,000	△399,000
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	-	△19,000
リース債務の返済による支出	-	△886
配当金の支払額	△68,514	△96,374
その他	-	△613
財務活動によるキャッシュ・フロー	81,485	△215,874
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△718,697	△915,317
現金及び現金同等物の期首残高	1,430,505	5,060,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△517
現金及び現金同等物の四半期末残高	711,807	4,144,578

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(要約四半期連結財務諸表注記)

1. 報告企業

株式会社フュージョンパートナー（以下「当社」という。）は日本に所在する企業であります。

その登記されている本社及び主要な事業所の住所はホームページ（URL <http://www.fusion-partner.jp/>）で開示しております。

平成28年9月30日に終了する3ヶ月間の当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社に対する当企業集団の持分により構成されています。

当企業集団は、『i-search』、『i-ask』等のサービスを中心に、企業と人のコミュニケーションを支援するサービスをSaaS/ASP型で提供している他、営業支援システム『eセールスマネージャー』の提供や小売店舗における店頭でのフィールド活動等のマーケティングサービス等を提供をしております。

2. 作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨

当企業集団の要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。本要約四半期連結財務諸表は、連結会計年度の財務諸表で要求されるすべての情報が含まれていないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

本要約四半期連結財務諸表は、平成28年11月14日に取締役会によって承認されております。

(2) 測定の基礎

当企業集団の要約四半期連結財務諸表は、注記「3. 重要な会計方針」に記載の通り、公正価値で測定されている特定の金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当企業集団の要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を切り捨て表示しております。

3. 重要な会計方針

本要約四半期連結財務諸表の作成に適用した重要な会計方針は、前連結会計年度の財務諸表において適用した会計方針と同一です。なお、第1四半期連結累計の法人所得税は、見積年次平均実効税率を用いて算定しております。

4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられております。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直されております。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識されております。

経営者が行った要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度の連結財務諸表と同様です。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当企業集団の報告セグメントは、当企業集団の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当企業集団は前連結会計年度まで「SaaS/ASP事業」のみの単一セグメントでありましたが、当第1四半期連結累計期間にソフトブレン(株)及びその子会社を連結の範囲に含めたことに伴い、「eセールスマネージャー関連事業」及び「フィールドマーケティング事業」を新たに報告セグメントといたしました。

「SaaS/ASP事業」は、『i-search』、『i-ask』等のサービスを中心に、企業と人のコミュニケーションを支援するサービスをSaaS/ASP型で提供しております。

「eセールスマネージャー関連事業」は、営業支援システムのライセンス販売、Cloudサービス、カスタマイズ開発、営業コンサルティング、営業スキルトレーニング、iPad等を活用した業務コンサルティング及び教育事業を提供しております。

「フィールドマーケティング事業」は、フィールド活動業務、マーケットリサーチを提供しております。

なお、前連結会計年度末において、持分法適用関連会社の取得価額配分に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間について、当該確定により識別された無形資産の償却費を反映しております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	調整額	四半期損益 計算書 計上額 (注) 3
	SaaS/ASP 事業	eセールス マネージャ ー関連事業	フィールド マーケティ ング事業	合計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	621,589	-	-	621,589	-	-	621,589
セグメント間の内部 売上収益又は振替高 計	-	-	-	-	-	-	-
セグメント利益	172,503	-	-	172,503	-	-	172,503

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書 計上額 (注) 3
	SaaS/ASP 事業	eセールス マネージャ ー関連事業	フィールド マーケティ ング事業	合計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	641,043	896,154	809,599	2,346,796	186,329	-	2,533,126
セグメント間の内部 売上収益又は振替高 計	-	9,119	3,170	12,289	7,796	△20,085	-
セグメント利益	76,663	206,850	87,681	371,194	1,540	119	372,855
段階取得に係る差益							2,633,133
営業利益							3,005,988

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業及び出版事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額119千円には、固定資産の調整額27千円及び棚卸資産の調整額92千円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社は、平成28年9月29日開催の取締役会決議に基づき、次の通り無担保社債を発行いたしました。

- (1) 銘柄 : 第1回期限前償還条項付無担保社債
- (2) 発行総額 : 20億円
- (3) 発行年月日 : 平成28年10月31日
- (4) 発行価額 : 各社債の金額100円につき金100円
- (5) 利率 : ①発行日の翌日から平成29年4月末日まで年0.1%
②平成29年4月末日の翌日以降は、各利息支払期日の翌日から次回利息支払期日の各期間(以下、各利息期間)において「各利息期間の開始直前の各利息支払期日の2銀行営業日前に(株)みずほ銀行が提示する6ヶ月Tibor」に0.0%を加えた利率
- (6) 償還方法 : 定時償還
- (7) 償還日 : 平成29年4月末日を第一回償還日とし、以降、毎年4月末日及び10月末日に2億円償還
- (8) 使途 : 今後の事業資金及び短期借入金の返済